

RICOH REPORT

2019

冬号

Contents

トップインタビュー

2019年度上期業績および成長戦略『リコー挑戦』の進捗について

トピックス：新たな可能性への挑戦 ヘルスケア事業のご紹介

株主様インフォメーション

RICOH
imagine. change.

証券コード：7752



2019年度上期業績および 成長戦略『リコー挑戦』の 進捗について

代表取締役
社長執行役員・CEO 山下 良則

1



2019年度上期の業績について教えてください。
また、米中貿易摩擦などの外部要因も変化していますが、
2019年度の見通しはどうでしょうか。

2019年度上期は、売上高で前年同期比+0.7%と微増。営業利益は、前年同期比-6.5%となりましたが、為替影響と株式譲渡益などの事業非連結影響分を除くと、実質的に+32.4%の増益となりました。地域別にみると、国内売上は前年同期比で+8.7%と好調を維持したのに対し、海外は為替影響もあり、-4.7%の減収となりました(為替影響を除くと-1.1%)。

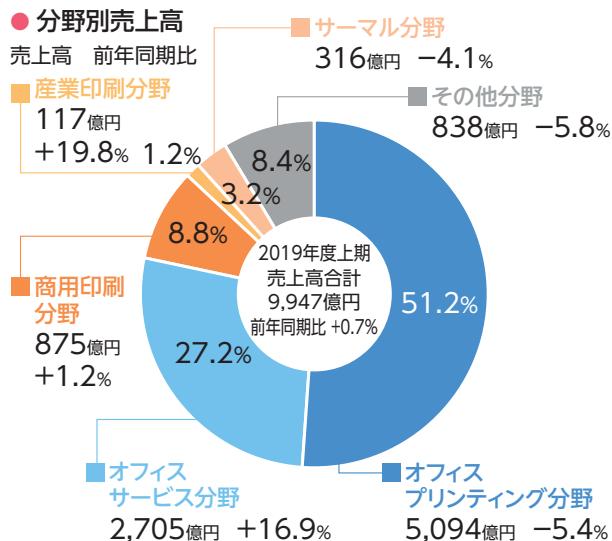
分野別では、オフィスプリンティング分野は、新世代複

合機の販売が好調な一方、採算重視販売による商談の絞り込み等の影響もあり、減収となりました。オフィスサービス分野では、日本市場を中心に中小企業のICT*投資が活況となり、この需要を取り込んだ結果、好調な業績を維持しています。オフィス向け事業全体(オフィスプリンティング分野とオフィスサービス分野合計)としては、オフィスサービス分野の好調により、前年同期比で増収増益となりました。

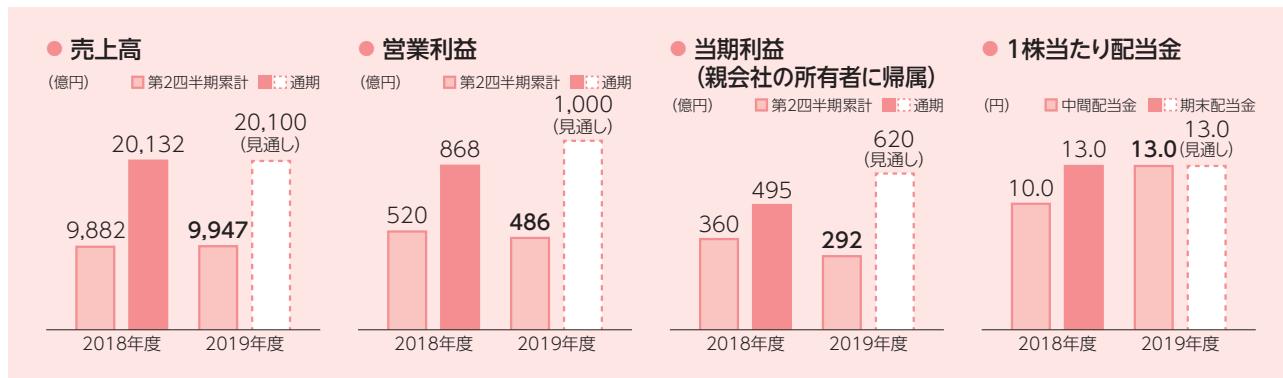
* ICT :Information and Communication Technology
情報・通信に関する技術の総称。

成長分野と位置付ける商用印刷分野は、新興国での需要を取り込んで販売台数を伸ばし、増収増益を達成しました。産業印刷分野においては、インクジェットヘッド新製品の販売が好調に推移し増収。営業利益は前年同期比で微減となりましたが、在庫引当等の一時要因を除くと概ね計画通りの結果となりました。サーマル分野は今後の電子商取引市場の拡大を見据えた主要地域での生産体制の整備は完了しましたが、主に中国市場における競争激化により、減収減益となりました。

米中貿易摩擦、英国のEU離脱など、予見の困難な情勢は依然として継続していますが、当社は主力となる複合機の生産の一部をタイ工場に移管するなど、予測される変化に対応するための柔軟な体制作りをいち早く取り組んできました。また、オフィスプリンティング分野において新製品効果が続き、収益力が強化されていること、さらにはICT市場の堅調な拡大に伴うオフィスサービス分野の収益拡大のトレンドを踏まえ、年度当初の営業利益の通期見通しを据え置きます。



なお、配当につきましては、4月にご案内させていただきました第19次中期経営計画での株主還元方針に基づき、中間配当金として1株当たり13円を決定しました。



2



成長戦略「リコー挑戦」の進捗状況について教えてください。

成長戦略0

成長戦略0は、基盤事業“最強”化を目指し、開発、生産、販売が一体となった原価低減や売価マネジメントなど、収益性向上に向けた取り組みを行っています。2019年度上期は、そのような取り組みの中投入したクラウド連携機能やメンテナンス性を強化した新世代カラー複合機「RICOH IM Cシリーズ」の販売が好調に推移し、着実に収益力の向上を図っていきます。



新世代カラー複合機
[RICOH IM Cシリーズ]

成長戦略1

成長戦略1は、商用印刷分野のカラーカットシート機やカラー連帳機の新製品投入によって、販売台数が大幅に伸長するなど成長を実現させてきています。産業印刷分野においては、先行投資として、インクジェットヘッドに加え、産業用プリンターの開発を進めてきました。今後は、

黒字化に向け、本格的な販売展開を進めます。また、サーマル分野においては新たな用途・顧客の開拓により、さらなる収益の拡大を図っていきます。



産業用インクジェットヘッド
[RICOH MH5320/5340]



カラープロダクションプリンター
[RICOH Pro C9210/C9200]

成長戦略2

成長戦略2では、各地域のニーズにあわせた業種業務ソリューション・ITサービス等の展開により、2019年度上期にはオフィスサービス分野において大幅な増収増益を達成しました。同時に体制強化やリソースの獲得も継続的に行っています。2019年8月に買収したドキュウェア社は、欧米を中心に1万社以上の顧客基盤を持つ、コンテンツマネジメントソフトやワークフロー自動化支援ソフト業界のリーディングカンパニーです。ドキュウェア社のコンテンツ管理やソフトウェア開発能力のノウハウを取り

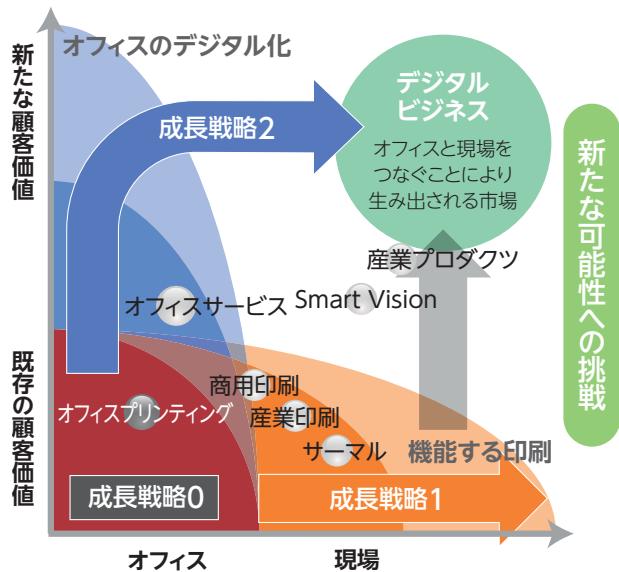
込みながら、業種業務ソリューションのラインナップ強化を図り、さらなる成長につなげていきます。

新たな可能性への挑戦

「新たな可能性への挑戦」の取り組みとして、インクジェット印刷技術を活用して、細胞を生きたまま吐出するバイオプリンティングなどのバイオメディカル事業や、画像認識、画像処理の強みを活かして神経疾患の診断に寄与するメディカルイメージング事業など、新たな事業の展開も進めていきます。

➡ p.5 トピックス「ヘルスケア事業のご紹介」を参照

● 成長戦略「リコー挑戦」



3



2020年度から始まる、次期中期経営計画への
意気込みをお聞かせください。

「リコー飛躍」と名付ける次期中期経営計画は、「リコー挑戦」として進めてきたこれまでの取り組みを花咲かせる3年間にしたいと考えています。

例えば、構造改革で体質強化が必要であったオフィスプリンティング分野と、収益力強化と将来への成長投資を同時に進める必要があったオフィスサービス分野は、それぞれの改革が一定の成果を上げたと判断し、同じオフィスのお客さまへの価値提供を目指す事業として戦略統合を進めます。加えて、製造現場、医療現場など、リ

コーがフォーカスする現場を定め、適切な商品、サービスを提供するための体制を作ります。

また、20次中計では、事業の競争力を高めるとともに、企業価値向上に資するよう資本政策の強化を進めていきます。具体的には、資本効率性をより重視した経営にシフトします。また、企業成長を支える規律ある資本構成と、従来の考え方にとらわれない株主還元について検討していきます。

トピックス：新たな可能性への挑戦 ヘルスケア事業のご紹介

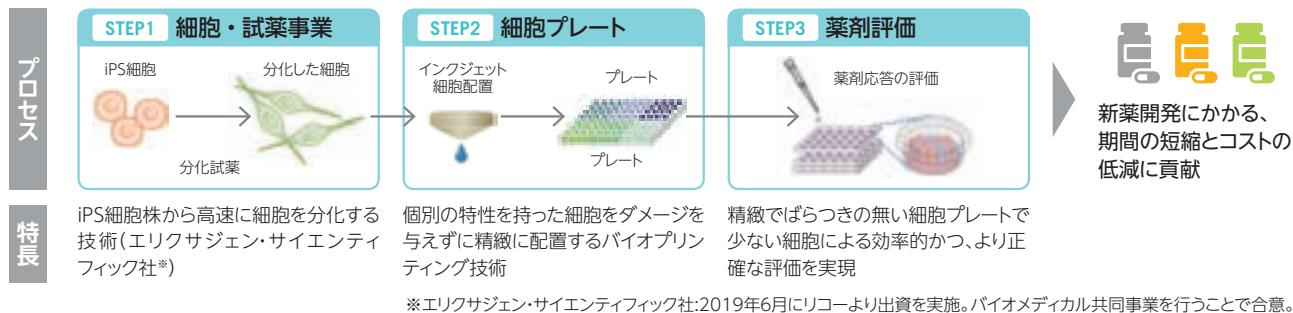
リコーは、高齢化社会への対応、医療費削減、地域間の医療水準格差解消などが求められるヘルスケア分野を、社会課題の解決に取り組む分野の一つとして位置付け、2016年から、ヘルスケア事業に本格参入しています。ヘルスケア事業では、「バイオメディカル」、「メディカルイメージング」、「ヘルスケアソリューション」の3つを重点領域として、「疾病を予防」し、「早期に発見」し、「迅速に治療する」ことに役立つ新しい価値を創造していきます。

「バイオメディカル」では、インクジェット技術を応用し、複数人のiPS細胞由来の神経細胞を精緻にプレートに配置することで、薬剤効果の検査を効率よく行う技術の開発と製品・サービス化を進めています。これにより、iPS細胞を用いた革新的な創薬を実現していきます。

「メディカルイメージング」では、2017年から脳磁計の販売を開始し、認知症や発達障害の早期診断に向けて研究を進めています。また、手術や放射線照射により身体を傷つけることなく頸椎の神経活動を可視化する脊磁計を開発し、先般、頸部、腰部に加え末梢神経の磁界計測にも成功しました。これにより、従来体表からは測定が難しかった骨・軟部組織に囲まれた神経組織の障害部位の特定など、脊磁計の臨床における応用先が広がり、実用化に向けて大きく前進しています。

「ヘルスケアソリューション」では、介護現場をサポートするベットセンサーシステムの開発や、医療現場の業務のデジタル化とデータ活用を支援する製品・サービスの開発を進め、「地域包括ケアシステム」の構築にも貢献していきます。

サービス例 バイオメディカル事業 —創薬—



サービス例 メディカルイメージング事業 —脊磁計—

●脊磁計による全身の神経機能の可視化



人の神経活動で発せられる微弱な磁場を計測することで、神経の変調を見つけたり、状態を確認することを実現

株主様インフォメーション

2019年度下期株主優待のご案内

[基準日:2019年9月末]

I 単元(100株)以上保有の全株主様に お送りするもの

●壁掛けカレンダー

お届け時期:
12月上旬～
中旬(順次)



カレンダーに関する
お問い合わせ

リコー株主優待事務局:0120-560-712
受付時間:10:00～17:00
(土日祝日・年末年始を除く2020年2月28日まで)

II 単元(100株)以上保有の株主様にご案内するもの【抽選】

●ラグビー観戦チケット(ペア800組1,600名様)

III 1,000株以上保有の株主様にご案内するもの【抽選】

- リコーフィル演奏会(ペア250組500名様)
- カメラセミナー(東京)(20名様)
- リコー関連グッズ(900名様)
- ペンタックスリコーファミリークラブ会員権(100名様)

*詳細は同封の「株主優待イベントのご案内」をご覧ください。

IV 全株主の皆様にご案内するもの

当社株式を保有されている全株主の皆様へ、リコーイメージング(株)のカメラ等の製品やリコーエレメックス(株)の時計製品等を特別価格にて販売いたします。同封の案内をご覧ください。

【ご報告】2019年度上期株主向けイベント実施

◆市村自然塾見学会ご招待【抽選】

満足・やや満足 **86%**

9月28日、株主様に塾生の農作業する姿をご覧いただきました。

株主様のご感想

- 大自然の中で、子ども達が集団生活と農作業という貴重な経験をしていることに感動した。
- 無理のない活動をより長く継続してほしい。
- 塾生(子どもたち)と話す機会がほしかった。



◆リコー環境事業開発センター(御殿場)見学会ご招待【抽選】

満足・やや満足 **100%**

10月16日、御殿場の環境事業開発センターを見学いただきました。

株主様のご感想

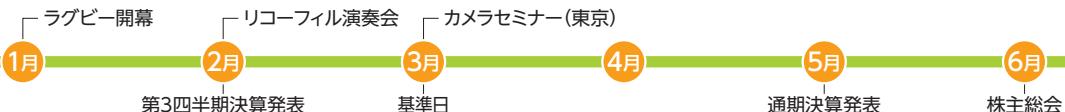
- 環境問題に対応した理想の工場だと思った。
- コピー機のリサイクルの工程が興味深かった。
- 環境への取り組みが良く分かった。



バイオマスプラントの見学の様子

上記の他、「リコーフィル演奏会」「カメラセミナー(大阪)」に抽選でご招待いたしました。

優待スケジュール
2020年
年間スケジュール



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社 の全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、特別口座にて株式を管理されていらっしゃる株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

IRメール配信登録のご案内

株主の皆様へ決算情報やニュースリリース、その他のIR情報を電子メールでお知らせしております。

ご希望の方は、当社IRサイトよりご登録の手続きをお願いいたします。

※本サービスは携帯電話メールには対応していません。

ご登録方法

- 1 「リコー IR」で検索し、IRトップページへ

リコー IR

- 2 こちらの ボタンよりご登録ください。



株式会社リコー



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

